

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20476
事業名	肝炎ウイルス検診費					
評価担当課	所属名	保)保健所 感染症総合対策課				
	課長名	葛岡 修二	担当者名	館下 麻未	電話番号	011-622-5199
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input checked="" type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他
	目的	短期	市民に対して肝炎ウイルス検査の受診を促し、肝炎の早期発見と早期治療につなげる。			
		長期	市民に対して肝炎ウイルス検査の受診を促し、肝炎の早期発見と早期治療につなげることで、重症化(肝硬変や肝がんへの移行)による市民の健康的な生活への影響を防ぐ。			
	取組内容	①肝炎ウイルス検査:札幌市に居住しており、これまでに肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を対象に、指定医療機関(約600機関)や住民集団健康診査において無料の肝炎ウイルス検査を実施する。 ②肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業:肝炎ウイルス検査の陽性者で本事業に同意した方に対して、検査後の医療機関の受診状況や治療方法等に関するアンケート調査を実施するとともに、肝炎治療等に関する各種助成制度の情報提供を行う。				
実施結果	令和3年度は22,474人の市民が肝炎ウイルス検査を受検し、うち、B型陽性者は130人、C型陽性者は35人であった。 フォローアップ事業の対象者延べ388人に対して、検査後の医療機関の受診状況や治療方法等に関するアンケート調査を実施するとともに、肝炎治療等に関する各種助成制度の情報提供を行った。また、フォローアップ対象者等の陽性者受検医療機関延べ120施設に対し、陽性者への受診確認状況等に関するアンケート調査を実施した。					
事業実施における工夫点	市民の利便性を考慮し、指定医療機関(約600施設)等に肝炎ウイルス検査事業を委託している。					
対象者	市民	開始	平成19年度	終了	0	年度
関連法令・条例・要綱等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、札幌市肝炎ウイルス検査実施要綱					
他都市の状況	肝炎ウイルス検診は、札幌市を含む全ての政令指定都市で実施している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	148,978	143,661	123,785	134,676	
うち特定財源	89,039	93,127	99,808	87,403	
人工	0.4	0.4	0.4	0.4	
人件費	2,880	2,880	2,880	2,880	
計(事業費+人件費)	151,858	146,541	126,665	137,556	
事業費の内訳	令和3年度決算	需用費(請求書やパンフレットの印刷費)467千円 役務費(フォローアップ事業対象者への調査票送付費)140千円 委託費(肝炎ウイルス検診費等)123,179千円			
	令和4年度予算	需用費(請求書やパンフレットの印刷費)505千円 役務費(フォローアップ事業対象者への調査票送付費)123千円 委託費(肝炎ウイルス検診費等)134,048千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	受検者数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	28,115	25,573	22,474	26,191
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	過去に検査を受けたことがない方を対象としていることから、事業の進展とともに受検者の減少が見込まれる上、令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出自粛を市民にお願いしていたことから医療機関への受診を控える傾向にあり、実績は、目標としていた受検者数を下回る結果となった。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	生涯にわたり一度は検査を受ける機会を設けることで市民の健康を維持するという事業の目的から、過去に検査を受けたことがない市民を対象として実施しているが、各政令指定都市において、同水準での実施状況であることから、事業水準は妥当であると考えられる。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	対象者の利便性を考慮し、約600の指定医療機関において無料の検査事業を実施しており、その結果、受検者数は年間2万人以上を維持しているため、事業の実施手法は適切と判断できる。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	検査費用は無料であり、検査を受ける医療機関は約600の指定医療機関の中から選ぶことができるため、検査の利便性は高く、対象者のニーズに応えるものと考えられる。また、肝炎の早期発見・早期治療に繋がっており、市民の健康維持に寄与するものである。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	陽性者に対して、医療機関への受診を促し、肝炎の早期発見・早期治療につなげるため、フォローアップ事業における調査票未回答者、未受診回答者への働きかけについて検討していきたい。			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	フォローアップ事業の調査票未回答者又は未受診回答者に対し、年度内に再度、受診状況等に関するアンケート調査等を行う予定である。		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	受検者数は高い水準を維持しており、その結果、肝炎の早期発見・早期受診につながり、市民の健康維持に寄与しているため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 引き続きフォローアップ事業における調査票未回答者、未受診回答者への働きかけについて検討していきたい。		
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 過去に検査を受けたことがない方を対象としていることから、検査費は徐々に減少することが予想されるが、依然としてニーズが高いことから、大幅な減少は見込まれない。		見直し効果額